

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

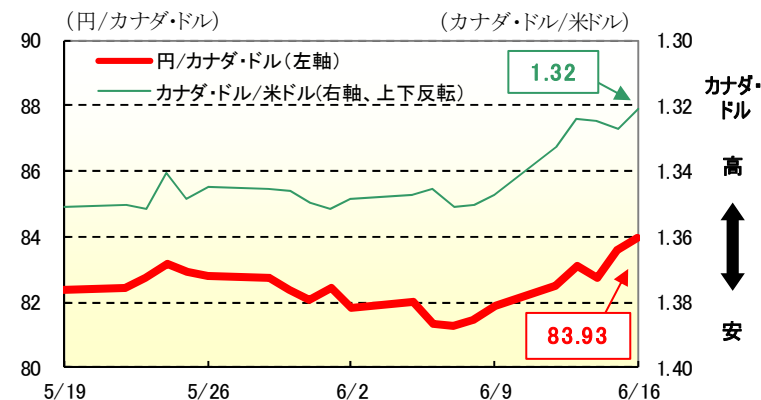
【2017年6月10日～2017年6月16日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場およびカナダ5年国債利回りは上昇しました。

先週は、カナダ銀行高官から早期利上げを示唆する発言があったことなどから、市場では利上げを織り込む動きが進み、金利やカナダ・ドル円相場は上昇しました。

### 【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年5月19日～2017年6月16日)



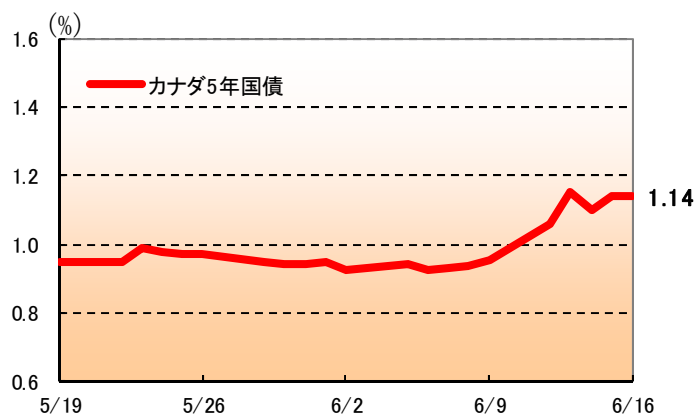
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

カナダについては、当面は政策金利は据え置かれると予想していますが、経済環境の好転などを背景に次の政策金利の変更は利上げ方向とみています。世界的にも金融政策は緩和から正常化へ向かう流れとなっており、カナダは金利上昇圧力が優勢になると考えられます。

今週は、カナダでは小売売上高やCPI(消費者物価指数)の発表があります。これらが市場予想を上回る堅調な結果となれば、金利およびカナダ・ドルの上昇に寄与するとみられます。また、米国でFRB(米国連邦準備制度理事会)高官の講演が多数予定されており、発言内容に市場の注目が集まるとみています。

### 【カナダ 金利推移】 (2017年5月19日～2017年6月16日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>